

さとうきび増産基金事業に関する事業評価票 【成果目標年度：令和2年度版】

事業名	都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況					具体的な取組内容	基金管理団体の意見	
						基準年 (計画策定時) 令和元年	1年目 令和2 年	2年目 令和 年	目標年 令和2年	目標値			達成率 (%計画値) (目標値)
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 本島北部地区	ゆがふ製糖株式会社(北部)	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平年水準に増加	28,322トン	32,291トン		32,291トン	38,140トン	40.4%	汚泥発酵肥料による土づくりの推進 かん水作業の推進	収穫面積の減少と複数の自然災害が目標の生産量増加となっていないが、基準年度(令和元年)より生産量が約14%増加したことや適正な防除対策効果により、単収は平年(7中唐5年)より増産となったことから、当該事業で自然災害に対応した取り組みがなされており、事業は適切に実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 本島中部地区	ゆがふ製糖株式会社(中部)	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平年水準に増加	19,842トン	23,659トン		23,659トン	28,798トン	42.6%	汚泥発酵肥料による土づくりの推進 かん水作業の推進	収穫面積の減少と複数の自然災害が目標の生産量増加となっていないが、基準年度(令和元年)より生産量が約19%増加したことから、当該事業で自然災害に対応した取り組みがなされており、事業は適切に実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 本島北部地区	北部地区さとうきび生産振興対策協議会	さとうきび	令和2年度	生産量を平年水準(過去7年中唐5年平均)まで増加	28,357トン	32,291トン		32,291トン	38,140トン	40.2%	各種害虫防除のための薬剤購入費の助成、260.2ha ①アトランテージュS粒剤 ②オンコロOK粒剤 ③プレバゾン粒剤 堆肥、緑肥、土壌改良資材及び土壌分析(土壌診断)等に係る経費、115.63ha 340件 苗の確保(保苗圃9市町村・11ほ設置)に係る経費の助成。120a	収穫面積の減少と複数の自然災害が目標の生産量増加となっていないが、基準年度(令和元年)より生産量が約14%増加したこと、また、成長旺盛期に適度の降雨が得られたことや適正な防除対策効果により、単収は平年(7中唐5年)より増産となったことから、当該事業で自然災害に対応した取り組みがなされており、事業は適切に実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 伊是名村	伊是名村さとうきび糖業振興会	さとうきび	令和2年度	平年水準(7中唐5年平均):19,437tが現状値17,950tを上回っていることから採用。	17,950トン	21,333トン		21,333トン	19,437トン	227.5%	各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成(共同防除394ha実施) 各種病害虫防除のための作業委託料等の助成(共同防除394ha実施) 株出管理作業(株補え)の作業費助成(136ha実施) 春植の補植用セル苗の購入費助成(213,000本)購入 土壌診断に係る経費の助成(82件・26.5ha)	自然災害に対応した取り組みがなされ、目標を達成しており、適切に事業が実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 伊江村	伊江村さとうきび糖業振興会	さとうきび	令和2年度	生産目標は現状生産量(5,136t)を維持。	5,136トン	5,599トン		5,599トン	5,136トン	109.0%	各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成 採苗に設置に係る経費等の助成 株出等管理作業の委託に係る経費等の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目標を達成しており、適切に事業が実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 本島中部地区	中部地区さとうきび生産振興対策協議会	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平年水準に増加	19,842トン	23,659トン		23,659トン	28,798トン	42.6%	各種病害虫防除のための薬剤購入費等の助成 スバコ乳剤 31ha・186本 スバコ乳剤 4.5ha・27本 オマコOK粒剤45.7ha・1,372袋 アトランテ 35.9ha・718袋 堆肥、緑肥、土壌改良資材施用及び土壌分析等にかかる経費 土壌診断料金 35ha 土壌ワブ採取料 7,000円×30日(2名) 苗の確保に係る経費等の助成 春植用 2.7ha・51,440本 補植用 13ha・77,160本	収穫面積の減少と複数の自然災害が目標の生産量増加となっていないが、基準年度(令和元年)より生産量が約19%増加したこと、また、適正な防除対策効果により、単収は平年(7中唐5年)より増産となったことから、当該事業で自然災害に対応した取り組みがなされており、事業は適切に実施されている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 本島南部地区	南部地区さとうきび生産振興対策協議会	さとうきび	令和2年度	単収を平年水準まで増加する。	4,862kg	5,690kg		5,690kg	5,647kg	105.5%	メイズチュウ類の防除薬剤を散布し、被害軽減に努める 土壌改良資材施用による経費の助成 株出等管理作業の委託に係る経費の助成 セル成型苗の購入による経費の助成 DM作成、郵送費	8月中旬までは平年を上回る生育で推移したものの8月下旬の相次ぐ台風襲来と9月中旬から10月中旬までの少雨傾向により生育は停滞したが本事業を実施したことにより、目標達成に絶大な効果があったと考える。当該事業で自然災害に対応した取り組みがなされており、事業は適切に実施されている。

さとうきび増産基金事業に関する事業評価票 【成果目標年度：令和2年度版】

事業名	都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況					達成率 (%達成率) (目標-基準)	具体的な取組内容	基金管理団体の意見
						基準年 (計画策定時) 令和元年	1年目 令和2 年	2年目 令和 年	目標年 令和2年	目標値			
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県久米島 場町	久米島さとう きび振興協議 会	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平 年水準に増加	46,938トン	49,164トン		49,164トン	48,588トン	134.9%	【各種病害虫防除のための薬剤購入費の助成】 ・防除薬による病害虫防除 ・堆肥等による土作りの推 進 ・かん水を行い収量の向上 を図る ・株出管理作業の役割に係 る経費の助成 【早期生産回復及び次作へ の影響を減らすための対策】 ・追肥・追肥に係る化学肥 料購入費用の助成 自然災害被害からの回復対 策 ・翌年度の新植に向けた種 苗の確保に係る経費の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 粟田村	東国地区さとう きび糖業振興 協会の	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平年 水準（過去7年中5年 平均）の生産量1,814t まで増加	1,601トン	1,896トン		1,896トン	1,814トン	138.5%	・病害虫防除のための薬剤 購入費助成 ・採苗圃設置費の助成 作 付面積 ・かん水委託費の助成 37.3ha	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 南大東村	南大東村さとう きび生産振興 対策協議会の	さとうきび	令和2年度	現状の生産量 (103,820t)を維持	103,820トン	105,998トン		105,998トン	103,820トン	102.1%	・各種病害虫防除のための 薬剤購入費等の補助 ・株出管理作業の役割に 係る経費等の助成 ・台風被害による次作への 影響を減らすための対策	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 北大東村	北大東村さとう きび糖業振興 協会の	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を現 状値（8元年度生産量） の28,942tを維持	28,942トン	27,724トン		27,724トン	28,942トン	95.8%	・カンシャコバナナガカメ ムシ（ガイダ）・ツマジ ロクサヨトウの防除を実施 するための薬剤購入助成を 行う。390ha ・株出管理作業の助成を 行う。280ha	台風被害率が10%以上を超える大型台風が 数回発生したことにより、大きな被害が発生し た。このことが目標達成率にわずかながら 及ばなかった主な要因と考えられる。しかし 、過去の7中5年の平均値と比較すると 大幅な増産となっている。その背景には、 当該事業で自然災害に対応した取り組みが なされており、事業は適切に実施されてい ることがある。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 宮古島市	宮古地区さとう きび糖業振興 会（宮古島） 宮古地区さとう きび糖業振興 会（伊良部島）	さとうきび	令和2年度	単収の増加（単収を平 年水準まで増加）	4,776kg	6,631kg		6,631kg	6,106kg	139.5%	・各種病害虫防除のための 薬剤購入費等の助成 ・堆肥、緑肥、土壌改良資 材施用に係る経費の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 多良間村	多良間地区さ とうきび生産 組合	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を平 年水準に増加	19,087トン	26,420トン		26,420トン	22,639トン	206.4%	・各種病害虫防除のための 薬剤購入費等の助成 ・各種被害の早期回復及び 次作への影響を減らすた めの対策（堆肥・緑肥、土 壌改良資材施用に係る経費）	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 石垣市	石垣島製糖株 式会社	さとうきび	令和2年度	さとうきび生産量を、 平年水準（過去7年中 5年平均）79,076tまで 増加	67,102トン	85,658トン		85,658トン	79,076トン	155.0%	かん水作業役務費等の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。

さとうきび増産基金事業に関する事業評価票 【成果目標年度：令和2年度版】

事業名	都道府県名 地区名	事業実施 主体名	対象作物等	事業実施 年度	成果目標の 具体的な内容	成果目標の達成状況					達成率 (%＝(実績) / (目標-基準))	具体的な取組内容	基金管理団体の意見
						基準年 (計画策定時) 令和元年	1年目 令和2 年	2年目 令和 年	目標年 令和2年	目標値			
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 石垣市	八重山地区さと うきび生産 振興協議会 (石垣島)	さとうきび	令和2年度	生産量を平年水準（過 去7年中庸5年平均） 79,076tに増加	67,102トン	85,658トン		85,658トン	79,076トン	155.0%	○新植夏植を対象としたメイ チュウ類・ツマジロウサ ヨトウの病害虫防除に係 る薬剤購入費等の助成 (477ha) ○令和2年度取種圃場（春 植・株出）を対象としたツ マジロウサヨトウの病害 虫防除に係る薬剤購入費等 の助成（698ha） ○苗の確保に係る経費等の 助成（17ha） ○株出管理作業の委託に係 る経費等の助成（25ha）	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 竹富町 小浜島	八重山地区さと うきび生産 振興協議会 (小浜島)	さとうきび	令和2年度	生産量を平年水準（過 去7年中庸5年平均） 3,088tに増加	2,452トン	3,852トン		3,852トン	3,088トン	220.1%	○新植夏植を対象としたメイ チュウ類・ツマジロウサ ヨトウの病害虫防除に係 る薬剤購入費等の助成（35ha） ○令和2年度取種圃場（春 植・株出）を対象としたツ マジロウサヨトウの病害 虫防除に係る薬剤購入費等 の助成（35ha） ○株出管理作業の委託に係 る経費等の助成（40ha）	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 竹富町 西表島	西表糖業株式 会社	さとうきび	令和2年度	現状値（令和元年度） の生産量 10,465 tを維持。	10,465t	11,459t		11,459t	10,465トン	109.5%	・令和元年度取種圃場（春 植・株出）対象メイチュウ 類・ツマジロウサヨトウの 防除に係る薬剤購入費の助 成 ・令和2年度 夏植対象メイチュウ類・ツ マジロウサヨトウの防除に 係る薬剤購入費の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 竹富町 波照間島	波照間製糖株 式会社	さとうきび	令和2年度	さとうきびの生産量を 令和2年度増産プロ ジェクト目標値11,500 tまで増加	11,380トン	12,645トン		12,645トン	11,500トン	1054.2%	・各種病害虫防除のための 薬剤購入費等の助成	自然災害に対応した取り組みがなされ、目 標を達成しており、適切に事業が実施され ている。
さとうきび自然災害被害対策事業	沖縄県 与那国町	与那国町さと うきび生産振 興対策室	さとうきび	令和2年度	生産量を平年水準（7中 庸5年平均）4,611tまで増 加	4,327トン	4,460トン		4,460トン	4,611トン	46.8%	・各種薬剤購入経費の助成 ・株出等管理作業 ・採苗の設置 ・かん水作業業務	取種面積の減少と複数の自然災害が目標の 生産量増加となっていないが、基準年度 （令和元年度）より生産量が約3%増加し たこと、また、適正な防除対策効果によ り、単収は平年（7中庸5年）よりわずか ではあるが約3%の増産となったことから、 当該事業で自然災害に対応した取り組みが なされており、事業は適切に実施されて いる。